

県民の森 花ごよみ 9月号

～裏面に開花・結実の調査結果を掲載～

アレチヌスビトハギ (全域)



北アメリカ原産の1年生の帰化植物。茎は高さ1mほど。花はヌスビトハギよりやや大きい。果実は扁平で3～6節に浅くくびれる。
〈マメ科〉

ヌスビトハギ (全域)



高さ0.6～1.2mの多年草。名は、果実の形をしび足で歩く盗人の足の形に見立てたというが、異説もある。果実は2節に深くくびれる。
〈マメ科〉

ノダケ (B,G,J,M)



高さ0.8～1.5mの多年草。暗紫色まれに淡緑白色の花をつける。果実はカレーの香りがする。
〈セリ科〉

植物園

ワレモコウ (全域)



キク科のモッコウから名づけられたと言われるが木香の香りはない。日当たりの良い草地に生える0.5～1mの多年草。花序は1～2cmの楕円形で上から下へと開花する。
〈バラ科〉

クズ (B,G,M)



秋の七草のひとつ。山野でふつうに見られる大形つる性の半低木（基部が木質化する）。根には多量のデンプンを含んでおり、葛粉（くずこ）がとれる。
〈マメ科〉

ヤマジノホトトギス (G,J)



山野の林内に生える高さ30～60cmの多年草。花被片には紅紫色の斑点があり、平開するが反り返らない。
〈ユリ科〉

イヌコウジュ (全域)



高さ20～60cmの一年草。全体に細毛が多い。葉は対生し長さ2～4cmの卵状披針形に縁に浅い鋸歯がある。枝先に花穂を出して淡紫色の小さい唇形花を多数つける。
〈シソ科〉

ギンリョウソウモドキ (H)

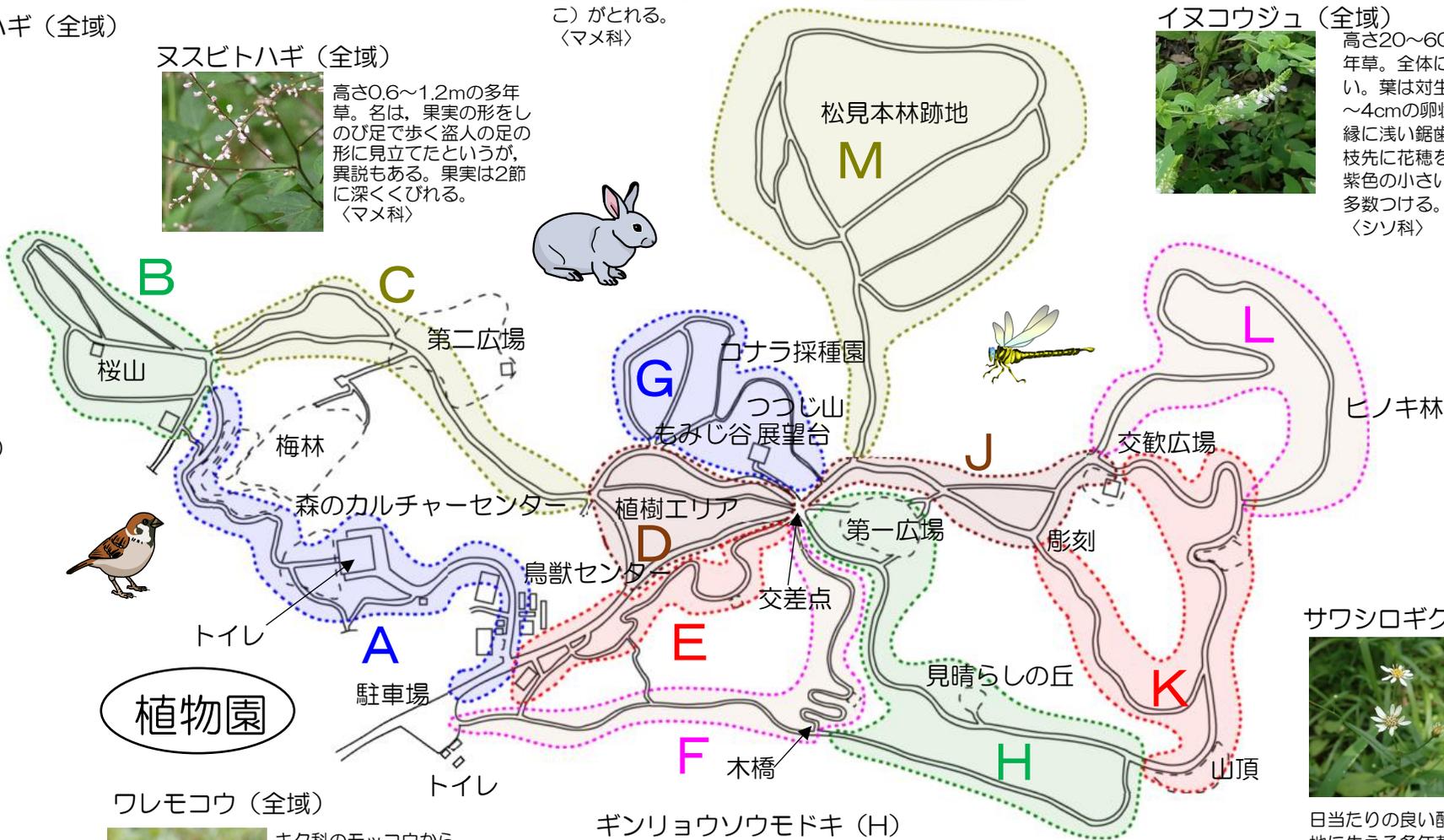


山地に生える腐生植物。全体に白色で高さ10～30cm。春にみられるギンリョウソウに似ているが、こちらは秋に見られることから別名アキノギンリョウソウとよばれる。
〈ツツジ科〉

サワシロギク (B,J)



日当たりの良い酸性湿地に生える多年草。頭花は少なく直径約2.7cmで長い柄の先につく。舌状花は白色で後にやや紅紫色を帯びる。
〈キク科〉



100m



9月の県民の森で観察された花と果実

調査：令和5年9月16日，県民の森等ボランティア

観察エリア	観察された花や果実
県民の森全域に点在	アレチヌスビトハギ、キンミズヒキシラヤマギク、ハギ類（ヤマハギ、マルバハギ、ツクシハギ）、ツリガネニンジン、ヌスビトハギ、ヒメキンミズヒキ、ユウガギク、ワレモコウなど
A 駐車場～森のカルチャーセンター～桜山	イヌタデ、サジガクビソウ、ツルボ、ノササゲ、フジカンソウ、ヤブランなど
B 桜山	オミナエシ、クズ、メガルカヤ、コマツナギ、サワシロギク、タムラソウ、ノコンギク、ノダケ、ヨウシュヤマゴボウなど
C 桜山～第二広場～植樹エリア	イヌタデ、オオバタンキリマメ、カラムシ、キバナアキギリ、ヌマトラノオ、ノゲシ、ハイメドハギ、ベニバナボロギク、ヤブミョウガ、ヨウシュヤマゴボウなど
D 植樹エリア	オガルカヤ、コマツナギ、コヤブタバコ、サワヒヨドリ、ツルボなど
E 鳥獣センター～遊歩道～交差点	アキノノゲシ、オオバタンキリマメ、コヤブタバコ、キダチコマツナギ、ヒメミカンソウ（実）、メドハギなど
F 駐車場～木橋～交差点	イタドリ、イヌタデ、オオバタンキリマメ、コマツナギ、ダイコンソウ、ツルボ、キダチコマツナギ、ナガバミズアオイ、ノコンギク、ボントクタデ、ミズタマソウ、メドハギ、ヤブガラシ、ヤブツルアズキなど
G つつじ山、もみじ谷周辺	アメリカネナシカズラ、オミナエシ、カナムグラ、クズ、サワヒヨドリ、ノコンギク、ノダケ、メマツヨイグサ、ヤブガラシ、ヤマジノホトトギス、ヤマニガナなど
H 第一広場～見晴らしの丘～木橋	イナカギク、オミナエシ、キバナアキギリ、ギンリョウソウモドキ、サジガクビソウ、ダイコンソウ、ハイメドハギ、ミズタマソウ、ヤブミョウガ、ヤブランなど
J 交差点～交歓広場	キバナアキギリ、サワシロギク、タムラソウ、ツルボ、ノコンギク、ノダケ、ヤマジノホトトギスなど
K 交歓広場～山頂～彫刻	イナカギク、イヌタデ、コヤブタバコ、シュウブソウ、ダイコンソウ、ボントクタデ、ヤブタバコ、ヤブランなど
L 交歓広場～ヒノキ林～T字路	アレチウリ、オオイヌタデ、カナムグラ、ボントクダデ、ママコノシリヌグイ、ヨウシュヤマゴボウ、ヤブツルアズキなど
M コナラ採種園～松見本林跡地	ウド、オオイヌタデ、カラムシ、クズ、コメナモミ、ノササゲ、ノダケ、ママコノシリヌグイ、ミズタマソウ、ヨウシュヤマゴボウなど

※県民の森での山菜や山野草，果実の採取は禁止です。生物多様性と生態系の保全のため，植物の保護にご協力をお願いいたします。